

こんにちは 牛越です

【第182回】

魅力あふれる
街なみに



大町市長
牛越 徹

先月、栃木県宇都宮市で全国市長会などの主催による全国都市問題会議に出席しました。今回のテーマは「コンパクトで持続可能なまちづくり」で、全国の都市が人口減少、少子高齢化に直面する中、地域の担い手不足やコミュニティの希薄化などの深刻な課題が生じていることが背景にあります。

特に地方では、かつての人口増加や車社会の進展に伴う都市機能や居住の外延化により、中心部の低密度化、公共サービスの非効率化、さらには都市の活力低下が懸念されています。そこで長期的な視点から、都市を持続的に発展させていくために人口のピークを越えた成熟社会に見合う、コンパクトなまちづくりが重要です。

当市でも、都市計画マスタープランの「コンパクトな集約型都市」の実現を目指し策定した立地適正化計画に沿って、コンパクトな市街地の形成と郊外を結ぶネットワークの強化に取り組んでいます。

また、中心市街地の良好な住環境やにぎわいのあるまちづくりに向けては、平成10年度に策定した街なみ環境整備事業によ

り計画的に進めてきましたが、官民連携によるハード面の整備を積極的に進めるため、新たな整備方針と事業計画を本年度策定することとし、8月に開催した全体説明会を皮切りに、自治会、商店街や有識者などによる検討と、対象地区の皆さんとのワークショップによる懇談を進めています。

9月の懇談会では、前計画による50件近い取り組みを振り返り、道路の美装化により街なみに統一感が生まれた、ポケットパークにより人通りが増えたなど、多くの意見が出されました。また、今後の取り組みについては、一層のにぎわいの創出や歩きやすさの向上に向け、イベントスペース、憩いの場の設置や、食歩き、水場などを巡る回遊性の創出に加え、景観の向上について意見が出されています。

引き続き、検討会議、懇談会でまちづくりの方向性と修景施設の整備をはじめ、具体的な事業内容を詰め、パブリックコメントなどにより幅広いご意見をいただき、本年度中の計画策定を目指すとともに、来年度の整備着手に向け準備を進めてまいります。